

# わたしたちの 働きかた 2018

働き方改革通信  
平成31年1月15日

発行：長野県教育委員会  
(義務教育課)

## 導入から、もうすぐ1年 助かってます SSS

SSS配置校では、当初はマネジメント役の教頭先生の業務が増えましたが、業務分業が軌道に乗ってきた10月には、配置校の教員1人

当たりの勤務時間が前年度に比べ約2時間減少しました(義務教育課調べ)。この縮減にSSSが一役買っていることは確かで、総じて「助かってます」との評価をいただいているところです。

SSS事業の今後の課題として、専門家等による検討会議では、マネジメント担当者の分掌、小規模校への配置、学校支援ボランティアとの役割分担、募集時の要件などが指摘されました。

そこで今回は、学校事務職員がマネジメント役に加わり、とくに**会計業務を分業**することで業務改善を加速している事例を紹介します。



### A小学校(松本地区)の取組

教頭先生と共にマネジメント担当となった事務の先生は、SSS任用前から分業内容を検討・精査し、毎月の定期業務の細かな説明資料を準備しました。任用後も、SSSのスキルに応じ、うまくいかなかった事例に学んで相談・修正し、

6月の調査では、教員1人当たり約2時間30分の勤務時間縮減を実現しています。

事務の先生は、「SSSだけでなく学校職員に事業が周知されていたことや、マネジメント担当者が2人体制のため、こまめなサポートや相談しながら改善できたことが、一定の成果を上げることができた要因」と話しています。

事務職員のマネジメント参画／業務内容・流れを見える化／教職員に周知



職員から負担軽減の要望が多かった会計業務補助。

SSSが支出伺いの作成を行い、会計システムに入力してくれるので、納品・請求のたびに会計処理が進み、会計報告の時期までためることがなくなった。金融機関での払い戻し手続きもSSSが担当してくれているので助かっている。

(松本地区C小学校 事務の先生)

とくに学年会計の分野では業者への注文・購入・支出伺いは会計担当教員。支出伺いの決裁後、伝票作成・出納処理・会計システム入力をSSSが行っている。

(佐久地区B小学校 事務の先生)



たくさんのご応募ありがとうございました

学校閉庁日ネーミングに600を超えるアイデアをいただき、ただ今選考中!